

ヒメギフチョウの保護と 自然環境教育を広げよ

角田 喜和 議員

質問 赤城町深山に生息する天然記念物「ヒメギフチョウ」は絶滅の危機に瀕しています。市の保護と保全対策は。また、南雲小学校では、16年前から食草のウスバサイシンを植えたりドリングリを育て苗木を移植したり、生息地を再生する保護活動を続けています。次

世代につなげる環境教育を全市に広げる考えは。

生涯学習部長 「ヒメギフチョウ保護管理計画」に基づき保護対策を実施します。具体的には除伐や下草刈りのほか、食草の増殖など環境整備を計画的に実施していきます。

教育長 環境教育として、

南雲小学校の取り組みを全市的に広めていくことは大切と考えます。

歴史資料館の存続と拡充を

質問 歴史資料館は二つあるが内容的に役割が違います。赤城歴史資料館は、考古から芸能、民具まで揃い県内外からの問い合わせも多く学芸員研修の必須の場所になっていきます。資料館を文化発信の場として拡充とPRの考えは。

生涯学習部長 赤城・北楯2館の歴史資料館の役割を

特化して運営するなど、そのあり方を含めて検討を進めたいと考えています。

教育長 展示内容の充実や拡充、PR活動などに取り組みでいきます。

質問 補聴器をしても映画や講演会で雑音が混ざり聞きづらいと聞きます。はっきり音声聞こえる磁気ループシステム導入の考えは。

生涯学習部長 先進地の状況と有効性について充分な情報を把握し、検討を進めます。



ヒメギフチョウの産卵調査

八木原駅東西連絡橋の設置について

入内島英明 議員

質問 過去十数回、各議員から一般質問が行われたが、当局はこの問題についてどう考えているのか。

市民部長 駅周辺整備の一環として捉えています。整備を進めるには様々な問題があることから、動向を見極めていく状況にあります。

質問 平成11年以降、線路

の東側に67軒の新築住宅ができた。住民要望が強い歩道橋設置の時期と考えるが。

市民部長 周辺整備と駅を核とした今後のまちづくりを考えていく中で検討していきます。

質問 半田セーブオン西の

用水路は枝川の水路が2本とも大きくいつも道路が冠水する。企業の占用排水路を借用したらどうか。

農政部長 増水時の対応をしています。さらに冠水が起きないよう対策を検討します。市では、民間施設を利用することは、基本的には行っていません。

質問 市の指定有形文化財として価値がある山車を一つの場所に集め、1年中、

観光客が見られるようにしたらどうか。

商工観光部長 場所の選定や一定面積の土地の確保などのほか多くの課題があると考えています。

また、各々の山車を地域に置かず1年中まとめて展示するには、自治会や氏子の方々など関係地域全体の充分な理解を得てからでないと困難であると考えています。



周辺整備が課題の八木原駅

一般質問



(仮称)北橋運動場整備事業予定地

赤城地区農業集落排水事業の充実を

狩野 保明 議員

質問 深山・長井小川田地区の排水処理施設は。供用開始の時期はいつか。

水道部長 深山・長井小川田地区は、マンホールポンプの設置工事を完了後の11月に供用開始を予定します。

質問 津久田駅周辺の狩野々地区実施計画は。

水道部長 深山・長井小川

田地区に包含して計画変更を行い、本年度から事業着手しました。平成28年度までの事業期間となります。

質問 宮田地区の実施計画と見通しは。

水道部長 宮田地区の事業期間は平成29年度まで、隣接する樽地区の汚水処理施設に接続し、樽地区と統合

した処理区となります。樽地区の汚水処理施設は、老朽化が進行しているため改修と併せ規模拡大を行います。

質問 持柏木地区の進捗状況と見通しは。

水道部長 持柏木地区は市の農業集落排水事業計画で最後の未採択地区となりました。事業採択申請に向け、隣接する既存施設の有効活用を図るため、隣接する北橋地区に順次説明を行って

います。

質問 事業完了3地区の管渠の布設がない所で、汚水処理の需要が生じた対応は。

水道部長 今後、個々のケースごとに地域に適した対応を研究していきたいと考えています。

質問 公共下水道、農業集落排水等の市全体の汚水処理普及率の現況と目標値は。

水道部長 汚水処理普及率は平成23年度末で78・02%です。目標値は平成30年度末の汚水処理人口普及率を90%に設定しています。

総務部長 防災情報等の迅速な全地区一斉放送・難聴地区の解消を図る目的で事業を実施します。

質問 町名表示事業については。

市民部長 自治会の協力と住所変更費用や手続きについて、理解が得られることを前提に事業化したものです。

質問 (仮称)北橋運動場整備事業の経過、提案策定者、事業の使用目的、地元説明会、協議の方法、施設の公平性、入札方法、施設

内容における見直しは。

生涯学習部長 旧北橋村で体育協会や北橋中学校PTAからの陳情を受け計画され、合併後規模を5haとして地域審議会をはじめ関係者・団体への説明会を行い、平成23年度に詳細設計を行いました。当該施設は、地域利用や近隣中学校部活動対応を含めた市全体の社会体育施設として整備します。見直しは、地域審議会等の協議経過を含め一定の条件の中で一部可能と考えます。



農業集落排水処理施設

事務事業評価に基づく 予算編成と施策事業について

田辺 寛治 議員

質問 予算の編成内容と施策事業の検証と評価は。

総務部長 一般財源枠配分方式により、各部長が事業の検証・評価を行って予算要求しています。

質問 小野上中学校屋内運動場建設事業については。

学校教育部長 建設によりコストは増加するが、特例

債が活用でき、利便性も飛躍的に向上し評価でき得る。

質問 花で包む未来の渋川推進事業については。

建設部長 花で包む未来の渋川を実現するために様々な主体が協働し、地域間交流を深めながら推進します。

質問 防災無線デジタル化事業については。

内容における見直しは。

人口減少問題及び在宅介護制度について

今井 五郎 議員

質問 総合計画（平成22年）の中で平成29年の目標人口を概ね8万人以上としたが、24年5月現在目標は達成できそうか。

企画部長 平成23年度末現在、総合計画の目標人口を約200人下回っています。子育て支援策等の各種施策を推進し、目標を達成でき

るよう取り組んでいきます。

質問 国の少子化に対する政策として子育て支援対策臨時特例交付金があるが、北橋保育園建屋改築事業はそのひとつか。

保健福祉部長 平成23年度に子育て支援対策臨時特別交付金が充てられた事業は4事業あり、北橋保育園の

改築も同交付金の対象事業ですが、平成24年度への繰り越し事業となっています。

質問 電気料値上げ（税の負担増）や夏の節電計画に備えるため、東京電力から特定規模電気事業者への電力契約変更を進めるべきと思うか。

市民部長 東京電力より安価な値段で電力が使用できれば、厳しい財政状況の中で、少しでも経費節減につながるようになりますので、特定規模電気事業者におけ

る電力の安定供給の状況を注視しながら検討します。

質問 支給基準日を8月1日と定めた現1年単位制度では728日介護しても慰労金がもらえない矛盾が起きている。半年単位支給制度に改定する考えはあるか。

保健福祉部長 現制度では、一年以上介護していても、支給要件を満たさない事例が生じる可能性があるため、この解消方法の検討を行います。

竹炭の活用と選別農薬農法の推進について

茂木 弘伸 議員



利用が期待される竹炭

質問 竹林整備事業の成果と、副産物である伐採した竹を竹チップ、竹炭として

利用していると聞いているが市の取り組み、経過を聞きたい。

農政部長 竹林整備は、平成22年度から始め平成23年度末には8・4haが整備されました。竹やぶから生じ

た副産物を竹炭等として農地に還元し、農作物の栽培に利用しています。

質問 竹炭を田畑に入れることで作物の成長が促進され、おいしい米や野菜ができると聞いているが。

農政部長 竹炭や竹パウダーを使用することで、土壌改良材や堆肥として効果が

ある。これらを有効利用することで、作物の良好な生育環境が整えられます。

質問 竹炭を利用した米、渋川産竹炭米等を積極的に売り出すための事業推進に、何らかの支援、補助等の考えはあるか。

農政部長 農産物のブランド化を図り、経済的に採算がとれるよう技術面・販売面での支援をしていきます。

質問 選別農薬農法確立とは。

を使用し、農薬散布を必要最小限に止め、安心安全な農産物を生産することです。

質問 市内農産物を給食に使用する考えはあるか。

学校教育部長 総合計画の指標である地場産品使用率を47・5％に設定し、積極的に推進していきます。

質問 竹炭活用、選別農薬農法について市長の考えは。

市長 人に優しい渋川の農産物のブランド化を推進し、自立・永続性のある農業を目指しています。



北橋保育園改築風景